

# 神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

"媳婦"が関わる民間語源三題：  
中国語西北方言の例を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2005-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 太田, 齋, Ota, Itsuku メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/725">https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/725</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# “媳妇”が関わる民間語源三題\*

—中国語西北方言の例を中心に—

太 田 齋

## §1 「星」の場合

「星」は中国語方言では漢字表記で示すと、概ね“星(儿)”, “星子”, “星星(儿)”, “星宿”といった語形で現われ、音声的に見ても体系的な字音の枠からはみ出たような形式はほとんど見られない。“星”の字音に文白異読の別がある場合には一般に白読音で現われ、その方言において白読層が淘汰される傾向にあると、一見したところ例外的な反映のように見えることもあるが、仔細に検討してみると、ほとんどは音韻変化の例外ではない。

このような状況にあつて、僅か1例であるが、以下のような擬人化されたかと思われる奇妙な形式が見られる。

山西长治：新媳妇  $ciŋ^{213} ciəʔ^{54.4} fu^{24.4}$  74 ← “星宿”

星星  $ciŋ^{213} ciŋ^{213-53}$  74

cf. □新媳妇  $ts^h u^{213} ciŋ^{213} ciəʔ^{54.4} fu^{24.4}$  流星滑过。□：滑行 74

---

媳妇子  $ciəʔ^{54} fu^{24} təʔ_{34}$  儿媳扫 83

新妇  $ciŋ^{213} fu^{24}$  89

新媳妇儿  $c ciŋ ciəʔ > c fuər$  新娘 普通 2434

参考までに“媳妇”を含む語形も挙げておいた。横線の下のがそれで

ある。一番目の語形“新媳妇”は下の行の“星星”と同義ということで一緒に並べられているし、「流れ星が過ぎ行く」の語彙にも現われているから、「花嫁」を意味する語彙が誤って“天文”の分野の語彙の中に紛れ込んだとは到底考えられない。実際、上に見るように「花嫁」は“紅白大事”の分野に現われており(“新妇”), “新媳妇”という語形とは若干異なっている。末尾の語形は参考までに他の文献から拾ったものである。

結論を先に言うと、この長治方言の「星」を意味する“新媳妇”という語形は、“媳妇”が合音となって、“星宿”と同音になっていることから、戻れた還元によって、“新媳妇”(合音)を“新媳妇”(非合音)に戻すのに合わせて、合音の“新媳妇”と同音の“星宿”をも非合音の“新媳妇”と同音にしたものである。つまり、以下のような変化があつて、

ciŋ ciə? fu	→	ciŋ ciəu
新媳妇(非合音)		新媳妇(合音)

生じた“新媳妇”の合音形式が“星宿”の発音と同音となる。この方言ではこれを逆にして、“新媳妇”(合音)を“新媳妇”(非合音)に戻すプロセスに同音の“星宿”も当てはめ、

ciŋ ciəu	→	ciŋ ciə? fu
新媳妇(合音)		新媳妇(非合音)
=星宿		=星宿

のような手続きで、“星宿”を“新媳妇”(非合音)の音声形式に改めたものである。今ここに挙げた“新媳妇”(合音)の音声記号は推定に拠る。上で見ると長治方言の“媳妇”は合音となつてはいないので、この推測が成り立たないかのように思えるが、以下に見るように近隣の方言で同音となっている例がある。

山西长子：星宿 ciŋ <sup>325</sup> ciəu <sup>53</sup>	星星 39
新□ ciŋ <sup>325</sup> ciəu <sup>53</sup>	新娘 49

陕西绥德：星宿  $ciŋ^{213-21} ciu^{51}$  星星 陕北131 (=子洲 陕北131)

新□儿  $ciŋ^{213-24} ciəur^0$  新娘 陕北150

陕西米脂：星宿  $ciŋ^{213-21} ciu^{33}$  星星 陕北131

新□儿  $ciŋ^{213-24} ciəur^0$  新娘 陕北150

---

山西河津：星宿  $cyE^{31} ciəu^0$  星星 县志471

宿星  $cyE^{31} ciəŋ^0$  星宿 研究177

cf. 扫星  $sau^{53-55} ciəŋ^{31}$  流星 县志471

新囚子  $ciēi^{31} ciəu^{213} tei^0$  新娘 县志474 ←“新媳妇子”

媳妇得  $ciəu^{324} tei^0$  媳妇。当地人认为应写作“囚”字，应为  
“媳妇”的合音 研究209 ←“媳妇子”

cf. 新姐夫  $ciē^{31} tciē^{53} fu^0$  新郎 研究225

cf. “星<sub>~</sub>宿”  $cyE^{31}$  研究123；“星<sub>火~</sub>”  $ciē^{31}$  研究122；“星”  $ciəŋ^{31}$   
研究 141

長子方言で「星」と「花嫁」が全く同音になっていることに注意すべきである。長子県は長治市の西にあり、これに隣接している。長治方言でも内部差異があつて、先の文献には収録されていないが、“新媳妇  $ciŋ^{213} ciəu^{44}$ ”（推定音声形式。調値は単字調で示した。第二音節は軽声とすべきか）という合音となった語形が並存しているということが十分に考えられる。また仮に長治方言内部に“新媳妇”（合音）が存在していなくても、長子方言に見られるように、周辺で広く“媳妇”が合音となっている例が見られるので、“新媳妇”=“星宿  $ciŋ^{213} ciəu^{44}$ ”の同音関係を容易に想起できるということであろう。そうであればまた容易に“新媳妇”（合音）と“新媳妇  $ciŋ^{213} ciəʔ^{54-4} fu^{24-4}$ ”（非合音）を結び付けることができ、“新媳妇”（合音）と同音の“星宿  $ciŋ^{213} ciəu^{44}$ ”もまた右倣えで“星宿  $ciŋ^{213} ciəʔ^{54-4} fu^{24-4}$ ”（漢字表記は“新媳妇”を代用するということになる）とすることに繋がって行くであろう。

最後の河津方言の“星宿 cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup>”の“星 cyE<sup>31</sup>”は例外的対応を示している。二番目に挙がる“宿星”は問題があるので、以下の議論では無視することにしたい<sup>(1)</sup>。但し所拠文献の『研究』は格段に詳しいので、使えるデータは利用したい。上で挙げた例から、問題とする語形に関して、両者の音韻表記のズレが理解できるであろう。

	『県志』	:	『研究』
星(白)	cyE		cyɛ
星(文)	ciəŋ		ciəŋ
新	ciēi		ciē
宿	ciəu		ciəu

声調は『県志』が陰平31；陽平213；上声53；去声33となっているのに対し、『研究』は陰平31；陽平324；上声53；去声44である。なお、上掲例で分るように、普通話の名詞接尾辞“子”に相当する同方言の名詞接尾辞 [tei<sup>0</sup>] (音声記号は両者同じ) の漢字表記は、『県志』では“子”，『研究』では“得”となっている。以下、『県志』の表記に即して論ずることにしたい。“星”は河津方言では規則的な対応形式であれば、白読音ならば [ciE<sup>31</sup>]，文読音ならば [ciəŋ<sup>31</sup>] である。[cyE<sup>31</sup>] は“说”と同音であり、特殊な変化を生じていると考えられる。これも穿った見方をすれば、以下のような例がある。

山西乡宁：说媳妇 cia<sup>53</sup> ci<sup>214</sup> fu<sup>11</sup> 娶媳妇 678

河北临西：说媳妇 sua<sup>ʔ21</sup> ciə<sup>ʔ21</sup> fuɣ<sup>24</sup> 给男子找对象 1013

山西运城：色媳妇 ʂa<sup>31</sup> ci<sup>13-11</sup> fu<sup>0</sup> 娶 46 ←“说媳妇”？ cf.“说~话”cyE<sup>31</sup> 20

山西万荣：生媳妇 ʂa<sup>51</sup> ci<sup>24</sup> fu<sup>220</sup> 娶媳妇 志34 ←“说媳妇”？ cf.“说”  
cyE<sup>51</sup> 志14

山西平陆：生媳妇 ʂa<sup>31</sup> ci<sup>13</sup> fu<sup>33</sup> 娶媳妇 志46 ←“说媳妇”？ cf.“说”fie<sup>31</sup>  
志23

山西平陆：□媳妇  $\text{sa}^{31} \text{ci}_{11} \text{fu}^0$  娶媳妇 县志583 ←“说媳妇”？  
 山西芮城：色 ( $\text{sa}^{31}$ ) 羞子 娶媳妇 982 ←“说媳妇子”？  
 山西临猗：□媳妇  $\text{sei}^{31} \text{ci}^{24} \text{fu}^{20}$  娶媳妇 640 ←“说媳妇”？  
 山西永济：□媳妇儿  $\text{sei}^{21} \text{ci}^{24} \text{fur}^0$  43 ←“说媳妇儿”？ cf.“说” $\text{cyE}^{21}$  22

山西平遥：说亲事  $\text{su}\Delta^?^{23} \text{t}^{\text{h}}\text{i}\eta^{13} \text{s}_1^{35-13}$  提亲 民俗2

山西运城：说媒  $\text{cyE}^{31} \text{mei}^{13}$  45  
 山西永济：说媒  $\text{cyE}^{21} \text{mei}^{24}$  43  
 山西武乡：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^3 \text{mei}^{33}$  32；研究93  
 山西定襄：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^2 \text{mei}^{31}$  45  
 山西临县：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^{44} \text{m}^{\text{e}}\text{e}^{44}$  48  
 山西孟县：说媒  $\text{su}\Delta^?^2 \text{me}^{22}$  40  
 山西长子：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^4 \text{mei}^{24}$  49  
 山西和顺：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^{21} \text{mi}^{22}$  68  
 山西阳曲：说媒  $\text{su}\text{ɔ}^?^2 \text{mei}^{22}$  83  
 山西原平：说媒  $\text{su}\text{ɔ}^?^4 \text{m}^{\text{e}}\text{i}^{33}$  85  
 山西忻州：说媒  $\text{su}\text{ɔ}^?^2 \text{mei}^{31}$  志100  
 山西广灵：说媒  $\text{su}\text{ə}^{53} \text{mei}^{31}$  31  
 山西汾西：说媒  $\text{f}_1^{11-53} \text{mei}^{35}$  36  
 山西平陆：说媒  $\text{fi}^{\text{e}31} \text{mei}^{13}$  46  
 山西新绛：说媒哩  $\text{fe}^{31} \text{mei}^{325-35} \text{li}_{11}$  41  
 山西屯留：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^{45} \text{mei}^{13}$  40  
 山西孝义：说媒  $\text{su}\text{ə}^?^2 \text{mei}^{11}$  96  
 山西代县：说媒  $\text{sua}^?^{22} \text{mei}^{44}$  研究187  
 山西文水：说媒  $\text{sua}^?^2 \text{me}^{22}$  82  
 山西平鲁：说媒  $\text{sua}^?^{12-22} \text{mai}^{33}$  91  
 山西朔县：说媒  $\text{su}\Delta^?^{34-21} \text{mei}^{35}$  43

山西平鲁：说媒	su $\Delta$ ? <sup>34</sup> mei <sup>44</sup>	研究172
山西天镇：说媒	ʃua? <sup>32</sup> mæe <sup>22</sup>	志44
山西大同：说媒	sua? <sup>54</sup> mæe <sup>313</sup>	73
山西左权：说媒	ʃuə? <sup>2</sup> mæe <sup>21</sup>	47
山西山阴：说媒	ʃuA? <sup>4</sup> mei <sup>313</sup>	39
山西高平：说媒	ʃu $\Delta$ ? <sup>22</sup> mǎi <sup>44</sup>	研究132
山西太原北郊：说媒	suə? <sup>2/7</sup> mai <sup>33</sup>	研究228

或は河津方言の例もまた長治方言に似て，“说媳妇（子）cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”と“星宿 ciE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup>”が類音牽引を生じて，“星宿 ciE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup>”の方が“说媳妇（子）cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”の音声形式に近づき，“星宿 cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup>”となったものかも知れない。「嫁を取る」は同方言では

山西河津：娶囚子 ʃa<sup>53</sup> ciəu<sup>213</sup> tei<sup>0</sup> 娶媳妇 县志474

cf. 山西河津：引媳妇得 iē<sup>53</sup> ciəu<sup>324</sup> tei<sup>0</sup> 研究225 ←“引媳妇子”

“取娶” tɕ<sup>hy</sup>53 研究 125；“取” ts<sup>hy</sup>53 研究 125 = “娶”？<sup>(2)</sup>

“生娶：～媳妇得” ʃa<sup>53</sup> 研究 118

とある。遺憾ながら、現時点では上に挙げた諸方言の「嫁を取る」の動詞が“说”に由来するものかどうか、明らかにすることはできない。河津方言の場合も、漢字表記こそ“娶”だが、その音声形式は [ʃa<sup>53</sup>] となっていて、上掲例の“色”，“生”，“□”で表記されているものと同源であることは疑いが無い。これが“说”に由来するものならば，河津方言の“娶囚子”の語源は“说媳妇子”ということになる。もし河津方言に，“娶囚子”の他に“说媳妇（子）cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”というような語形も存在するということになると，所属する層の異なる二つの語形が並存しているということになる。たとえ同方言において，“娶囚子 ʃa<sup>53</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”（<“说媳妇子”）

は用いるが、同方言固有の語彙として“说媳妇(子)cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”は実際には用いないということであるにしても、「結婚」に関し，“说亲事”，“说媒”のような“说”を含む語彙は広く用いられているから，“说媳妇(子)cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”のような言い回しを想起することは十分に考えられる。“说媳妇(子)”の本来の意味は、上掲の臨西方言にあるように「(息子の)嫁取りの相談をする」ということであろう。それが多くの方言で「嫁を取る」という意味に取られているようである。また“娶 [sɔ<sup>53</sup>] 囚子”若しくは“引囚子”のような言い方で「嫁を取る」と言うのに対し、本来の「(息子の)嫁取りの相談をする」という意味では，“说媳妇(子)cyE<sup>31</sup> ciəu<sup>0</sup> (tei<sup>0</sup>)”というような言い回しがなされているというように、表す意味を異にして、機能分担して共存しているというような可能性も考えられる。上掲例中、山西运城、永济方言の“说媒”の“说”が[cyE]のようにになっている点は注目すべきである。この运城、永济がここで問題としている河津に近い地点であることを考えると、ここで述べた推測はあながち荒唐無稽とは言えまい。

以下，“媳妇”が合音となっている方言例を「星」の語形と対照して挙げる。「星」と「花嫁」の同音衝突には“星宿”の“宿”と“新媳妇”の“媳妇”（合音）が一致するだけでなく，“星”と“新”もまた一致（若しくは類似）する必要がある。そこで、「花嫁」の語形が所拠文献に見えない場合は，“媳妇”を以って代わりとしているが、参考までに“新”の字音も挙げておく。但し同音字表が無く、また分類語彙表にも“新”の字音が見当たらない場合は推定による音声形式を参考までに挙げておいた。後に？が附されて、ページ数のないものがそれである。

山西大宁：星宿	cie <sup>21</sup> ciəu <sup>0</sup>	星星	480	
	娘子	ciəu <sup>13</sup> tsə <sup>0</sup>	年轻媳妇	490 ←“媳妇子”；“新”cie <sup>21</sup> ？
山西芮城：星	(ciE <sup>31</sup> )	宿儿	979	
	羞子		媳妇	981 ←“媳妇子”；“新”cie <sup>31</sup> ？



山西石楼：星宿  $\text{ci}^{\text{214-44}} \text{ci}^{\text{əu}^{\text{52}}}$  星星 467  
           修子  $\text{ci}^{\text{əu}^{\text{44}}} \text{tsə}^{\text{?44}}$  媳妇 471 ←“媳妇子”；“新”  $\text{ci}^{\text{ŋ}^{\text{214}}}$  ?  
 山西兴县：星宿  $\text{ci}^{\text{34}} \text{ci}^{\text{əu}^{\text{52}}}$  星星 451  
           囚  $[\text{ci}^{\text{əu}^{\text{44}}}]$  子 媳妇, 年轻的已婚妇女 450 ←“媳妇子”；  
           “新”  $\text{ci}^{\text{əŋ}^{\text{334}}}$  ?

山西临县：星星  $\text{si}^{\text{əu}^{\text{24}}} \text{si}^{\text{əu}^{\text{24-31}}}$  36  
           新嫖子  $\text{si}^{\text{əŋ}^{\text{24}}} \text{səu}^{\text{44}} \text{tsə}^{\text{0}}$  新娘 48 ←“新娘媳妇”  
 山西方山：星宿  $\text{ci}^{\text{24}} \text{ci}^{\text{əu}^{\text{51}}}$  星星 444  
           嫖子  $\text{səu}^{\text{44}} \text{tsə}^{\text{?0}}$  儿媳妇 448 ←“媳妇子”；“新”  $\text{ci}^{\text{əŋ}^{\text{24}}}$  450

河南林县：星星  $\text{c}^{\text{siŋ}} \cdot \text{siŋ}$  星 普通2009  
           cf. 星宿  $\text{siŋ}^{\text{11}} \text{sy}^{\text{?3}}$  星 县志611  
           新娘妇□  $\text{c}^{\text{sin}} \text{siou}^{\text{?}} \cdot \text{ə}$  新娘 普通2434  
 河北邯郸：星星  $\text{c}^{\text{siəŋ}} \text{c}^{\text{siəŋ}}$  星 普通2009  
           新娘妇  $\text{c}^{\text{siən}} \text{c}^{\text{siəu}} \cdot \text{fu}$  新娘 普通2434  
 山西离石：星星  $\text{c}^{\text{s1}} \text{ci}^{\text{əu}^{\text{?}}}$  星 普通2009  
           新娘妇子  $\text{c}^{\text{ciəŋ}} \text{c}^{\text{sou}} \cdot \text{tsə}$  新娘 普通2434

現在のところ、「星」と「花嫁」についての方言地図を作成していないので、説得力に欠けるのだが、ここで扱っている例に関して言えば、傾向として“媳妇”が合音となっている方言例は、東に河南省を中心として分布しており、「星」は“星星”という語形で現われることが多いのに対し、西の陝西省を中心とする地域は「星」を“星宿”というのが一般的で、“媳妇”が合音となることは少ないようである。上に述べたような同音衝突が起こるのはその中間地帯となる山西省で、言わば東の類型と西の類型の接触地帯であると言って良いように思う。分布状況に関しては今後地図を作成して明らか

にして行きたい。

## §2 「齒莖」の場合

「<sup>はくき</sup>齒莖」は中国語方言では“牙齦”，“齒齦”，“牙根”，“牙花（子）”といった語形で現われることが多い。後の二つの語形は方言によっては「齒垢」の意味に用いられていることがあり，また「齒莖」，「齒垢」の両方の意味を持つ場合もある。その中であって以下のような奇妙な語形がある。

山西吉县：牙媳妇 nia<sup>13</sup> ci<sup>423-42</sup> fu<sup>33</sup> 牙齦 41；“锈”ciou<sup>33</sup> 22

cf. 儿媳妇 zi<sup>13</sup> ci<sup>423-42</sup> fu<sup>33</sup> 40

ここでもまた結論を先に言うと，通常は「齒莖」を表す語形が「齒垢」を表すのに転用されていることが多いが，この場合は逆に「齒垢」を表す“牙锈”が「齒莖」を表すようになった。先の「星」のケースに似て，“锈”が“媳妇”の合音と同じ発音であることから，

“牙锈” → “牙媳妇”（合音） → “牙媳妇”（非合音）

nia ciou    nia ciou                    nia ci fu

というような連想が働き，“媳妇”（合音）から“媳妇”（非合音）への還元に合わせて，“媳妇”（合音）と同音の“锈”もまた“媳妇”（非合音）と同音の形式に改められたのである。以下の方言情例を参照されたい。

山西万荣：牙花子 nia<sup>24</sup> xua<sup>51</sup> tu<sup>0</sup>    ①=牙锈 nia<sup>24</sup> ciəu<sup>33</sup>。牙齿表面上  
的污垢②县西指齿齦 词典 97

山西临汾：牙花子 nia<sup>13-35</sup> xua<sup>21</sup> tsɿ<sup>0</sup> 齿垢 79

牙根 nia<sup>13-35</sup> kən<sup>21</sup> 牙垢 79

山西太原：牙花子 nia<sup>11</sup> xua<sup>11</sup> tsəʔ<sup>0</sup> 牙垢 词典53

山西太原：牙根 nia<sup>11</sup> kəŋ<sup>11</sup> 牙齿的根部 词典53

- 山西平遥：牙根子  $nia^{13} kəŋ^{13-31} ts_{\Delta}^{23-45}$  牙根 民俗113
- 山西平遥：牙关  $nia^{13} kuəŋ^{13}$  牙龈 民俗113
- 山西太原北郊区：牙坩  $ia^{33} kə\epsilon^{33}$  牙花子 研究216
- 山西平鲁：牙干  $ia^{44} kə\epsilon^{213}$  牙垢 研究163
- 山西临县：牙泔  $niA^{44-21} kiE^{24}$  牙垢物 45
- 山西忻州：牙乾  $nia^{11} k\bar{a}^{313}$  牙垢 词典62
- 山西静乐：牙疳  $ni\check{a}^{33} k\bar{e}^{24}$  牙垢 230
- 陕西神木：牙疳  $ia^{44} kə\epsilon^{21}$  牙垢 研究382
- 陕西户县：牙花  $ia^{35} ke^{31}$  牙垢 研究321
- 牙锈  $nia^{35} ciy\bar{u}^{51}; nia^{35} ciy\bar{u}^{55}$  研究321
- 山西平遥：牙锈  $nia^{13-31} ciəu^{35}$  牙垢 民俗113
- 山西娄烦：牙花圪楞  $ni\check{a}^{33} xu\check{a}^{33} kəʔ^3 leŋ^{33}$  牙龈 研究88
- 山西娄烦：牙花圪棱  $nia^{33} xud^{33} kəʔ^3 leŋ^{33}$  牙龈 县志671

方言によっては、「菌茎」を表す“牙根”が「菌垢」を表している場合もある。恐らくこの語形が方言によっては不完全な豊韻化（主母音の一致）を生じて  $(n/n)ia kən \rightarrow (n/n)ia kan$  のような音声形式となり、それに対し“牙泔”，“牙乾”，“牙疳”，“牙坩”というように様々な異なる漢字表記が為されるようになったのであろう。先に述べたように大勢としては「菌茎」を表す語形が「菌垢」を表すのに転用されていると考えられるのであるが、太原北郊の例“牙坩”は語釈の“牙花子”が果たして「菌茎」を意味するのか、それとも「菌垢」の意味なのか、さてまたこの両者の意味を持つのか知りようがないが、逆に「菌垢」を表す“牙锈”が「菌茎」を表すようになる可能性を示唆しているように思われる。つまり吉県方言の場合も、先に示したように“牙锈”が，“锈”と“媳妇”（合音）とが同音であるところから、連想によって“牙锈”→“牙媳妇”（合音）→“牙媳妇”（非合音）となったものであろう。このように“锈”が二音節化することで、或は語源が“锈”であ

ることの意識が薄らいだかかも知れない。そうであれば、指示対象のズレがより起き易くなったと言えよう。

指示対象のズレは意義拡張に伴う派生的用法が一般化したもので、さほど珍しいものではなく、様々な語彙に見られる。参考までに以下にその一端をあげておく。但し個々のケースについて、その変遷過程を論ずることは他稿に譲りたい。

a. 「日光の照り付ける場所」—「日光」—「太陽」

山东汶上：老爷帝儿 太阳 549 ←“老爷地儿”

cf. 山东肥城：老爷地儿  $l\text{ə}^{55-214} i\text{ə}^0 t\text{ir}^{313}$  太阳地儿 747

河南范县：爷爷地儿 太阳 500

cf. 河南南乐：爷儿爷儿地 太阳下 734

河南太康：日头地儿/ $ri^{24} t\text{ou}^{55} d\text{ir}^{312}/$  阳光照的地方，日光 575

河南濮阳：肉地儿  $z\text{ou}^{213-45} t\text{i}\text{er}^{213}$  太阳。太阳地儿 45 ←“日头地儿”

河南宁陵：日头地儿/ $rou^{24} d\text{i}^0/$  太阳 431<sub>(3)</sub>

太阳地儿/ $tai^{312} yang^{42} d\text{i}^0/$  431<sub>(3)</sub>

河南桐柏：太阳地儿/ $tai^{31} yang^0 d\text{i}^{31} er^0/$  太阳照到的地方 731

b. 「月明かりの当たる場所」—「月光」—「月」

山东金乡：月明地儿  $y\text{ə}^{213-21} m\text{i}\eta^0 t\text{i}\text{er}^{312}$  ( $t\text{rer}^{312}$ ) ①月亮②月光 74

山东阳谷：月明地儿  $y\text{ə}^{312-21} m\text{i}\eta^{42} t\text{l}^{738}$  ①月亮②月光照射的地方 研究90

河北深县：老母地儿  $l\text{au}^{213} m\text{u}^{213} t\text{i}\text{er}^{31}$  月亮地儿；月亮 540

河北任丘：老母地儿 月光 631

河北平山：月亮地儿  $y\text{o}^{13} li\text{a}\eta^{42-35} t\text{i}\text{er}^{42}$  月亮 838

河北柏乡：月亮地儿 月光 198

河北南宫：月亮地儿  $y\text{e}^{51} li\text{a}\eta^0 t\text{i}\text{er}^{21}$  月亮照到的地方 737

c. 「鼻」 — 「鼻涕」

- 山东滕县：鼻子 pi<sup>55</sup> tsɿ<sup>0</sup>      ①鼻子②鼻涕 566  
 河北平乡：鼻子 pi<sup>53</sup> tə<sup>0</sup>      ①鼻子②鼻涕 869  
 河南林县：鼻子 pi? lə?      鼻子，鼻涕 614  
 山西武乡：鼻子 piə?<sup>53</sup> tə<sup>0</sup>      ①鼻子②鼻涕 志30

d. 「乳房」 — 「母乳」

- 山东济南：妈妈 ma<sup>21</sup> ma<sup>0</sup>      ①乳房②乳汁 市志144  
 山东沂水：就就 ziou<sup>21-44</sup> ziou<sup>0</sup>      ①乳房②乳汁 91  
 山东金乡：蜜蜜 mi<sup>213-21</sup> mi<sup>0</sup>      ①乳房②乳汁③儿语，下饭的菜 91  
 山东荣成：奶子 nai<sup>214</sup> tsɿ<sup>0</sup>      ①乳房②奶水 志100  
 河南长葛：妈儿 /mar<sup>24</sup>/      (1)乳房(2)乳汁 620  
 陕西宁陕：奶 lai<sup>53</sup> 乳房，乳汁 717  
             奶子 lai<sup>53</sup> tsɿ<sup>53</sup>      717  
             奶奶 lai<sup>53</sup> lai<sup>53</sup>      717

e. 「眼窝」 — 「目」 — 「眼力」

- 宁夏中卫：眼窝子 iĕ<sup>53-13</sup> və<sup>44-53</sup> tsɿ<sup>0</sup>      ①眼圈②眼力，视觉 128  
 宁夏银川：眼窝 ian<sup>53-35</sup> və<sup>0</sup>      眼球所在的凹陷的部分 词典252  
             眼窝子 ian<sup>53-35</sup> və<sup>0</sup> tsɿ<sup>0</sup>      眼力 词典253  
 山西洪洞：眼窝 nian<sup>42-33</sup> uo<sup>30</sup>      眼睛 36  
 山西临汾：眼窝 ʎnian ·no      眼睛 基础2513  
 山西临汾屯里：眼窝 iaŋ<sup>31-44</sup> uo<sup>22-31</sup>      眼睛 樋口109  
 山西绛县：眼窝 niæ<sup>33-51</sup> uə<sup>0</sup>      眼睛 742

f. 「肛门」 — 「尻」<sup>(4)</sup>

- 山西中阳：屁眼 p<sup>h</sup>i<sup>53</sup> nie<sup>0</sup>      肛门 84

山西孟县：屁眼	p <sup>hi</sup> 44 niã <sup>53</sup>	肛门，也指屁股	38
山西临汾：屁眼	p <sup>hi</sup> 55 nien <sup>51</sup>	屁股	79
甘肃天水：屁眼	p <sup>hi</sup> 55 nien <sup>21</sup>	屁股	182
甘肃定西：屁眼	/pi <sup>ɿ</sup> / [niã]	臀部	201
陕西麟游：屁眼	p <sup>hi</sup> 44 niã <sup>42-31</sup>	屁股，又指肛门	584

派生的用法が一般化して、これに連音変化が加わったりして、語源についての理解が不確かなものになれば、ときには大勢とは逆方向と思えるような指示対象のズレが見られるかも知れない。比喩にすぎないが、例えば上掲例の a は「日の当たる場所」が「太陽」、「日光」の意味を持つケースばかりだが、逆に本来「太陽」を意味する語が、「日光の照りつける場所」を指すようになることも有りえよう（現時点では該当例は見当たらない）。ここで扱った「齒垢」が「齒莖」意味するようになるケースは正にそれにあたるものと考えられる。

### §3 「瞳孔」の場合

「瞳孔」は多くの方言で、“瞳仁”という。中には“仁”と“人”が同音であるところから、“瞳人”と表記されている場合もある。更には瞳孔は覗き込んだ人の姿が小さく写ることで、瞳の中には小さな人がいるというような俗信が生れ、それが“童养媳”と結び付けられて、その「小さな人」が“媳妇”となっているような語形もある。以下の例を参照されたい。

宁夏同心：眼新媳妇儿 ian<sup>53</sup> cin<sup>44</sup> ci<sup>0</sup> fər<sup>0</sup> 瞳孔 142 ←“眼睛”+“媳妇儿”

cf. 媳妇 ci<sup>13-11</sup> fu<sup>0</sup> 妻子 140

cf. 新姐姐 cin<sup>44</sup> tcie<sup>55</sup> tcie<sup>0</sup> 新娘 157

cf. 花新姐姐 xua<sup>44</sup> cin<sup>44</sup> tcie<sup>53</sup> tcie<sup>0</sup> 花大姐(瓢虫) || 回民称新媳妇为“新姐姐” 118-119



ないのであるが、共通語形として用いられているものであるから、連想によってこのような非固有の表現にも結びつくということなのであろう。興味深いことに、同心方言の「花嫁」の固有語形“新姐姐”は先の「テントウムシ」に現われている。この場合は元の語形が“花姐姐”のような語形だったのであろう。

宁夏同心：花新姐姐 xua<sup>44</sup> cin<sup>44</sup> tcie<sup>53</sup> tcie<sup>0</sup> 花大姐(瓢虫) || 回民称新娘  
 妇为“新姐姐” 118-119

宁夏银川：花姐姐 xua<sup>44</sup> tcie<sup>53-35</sup> tcie<sup>0</sup> 二十八星瓢虫 词典 108

山西河津：花姐姐 xua<sup>31</sup> tcia<sup>53</sup> tcia<sup>0</sup> 瓢虫 研究 195

山西高平：花姐姐 xua<sup>33</sup> tcia<sup>212</sup> tcia<sup>212</sup> 瓢虫 研究 113

cf.宁夏银川：花姐姐 xua<sup>44</sup> tcie<sup>53-35</sup> tcie<sup>0</sup> 臭板虫儿 志 95

cf.宁夏中卫：花姐姐 xua<sup>44</sup> tcie<sup>13</sup> tcie<sup>53</sup> 纺织娘 107

山西太原北郊区：花大姐 xua<sup>33-53</sup> ta<sup>35</sup> tcie<sup>312</sup> 七星瓢虫 研究 203

山西代县：花媳妇儿 xua<sup>213-24</sup> cie<sup>22</sup> fer<sup>53</sup> 瓢虫 研究164

そのため“花姐姐” + “新姐姐” → “花新姐姐” というような形成のされ方をしたものと思われる。もし同心方言の「テントウムシ」の元の語形が代県方言のように“花媳妇儿”であったなら、これもまた“眼新媳妇儿”と同じように、恐らく“花新媳妇儿”となっていたことであろう。但し、現時点では他方言にこのような語形の報告例は確認できていない。

“眼新媳妇儿”の推定される変化のプロセスは以下のようなものである。“人”及び“睛”の音声形式は同音字表に基づいている。<sup>(5)</sup> 但し声調については省略。

眼睛人(儿) → 眼睛 + 媳妇儿 → 眼睛媳妇儿 → 眼新媳妇儿  
 ian tcin zən(r) ian tcin ci fer ian tcin ci fer ian cin ci fer



“眼睛”が先に“眼新”と漢字表記されるような音声形式になっていたことは、周辺にそれに該当するような例が全く見当たらないので、考え難い。“人(儿)”から“媳妇(儿)”への変化は恐らく、先に指摘したように“童养媳”との類音関係が関係している。“童养媳”は、その悲惨な境遇からタブー視されるということなのか、例外的な音声形式で現われることが多く、山東、河北、河南では多く“团圆媳妇(子/儿)”というような形式で現われることが多い。以下の諸方言の例から、“童养媳妇(子/儿)”が連音変化を生じて、やがて“团圆媳妇(子/儿)”と表記しうるような音声形式へと変わっていく様が見てとれるであろう。めでたい言葉への言い換えである。

山東牟平：童养媳  $t^h\text{on}^{51-55} \text{ia}\eta^{213-55} \text{ci}^{213}$  领养人家的女孩儿做儿媳妇，等儿子长大后再接婚，这样的小女孩儿叫童养媳 词典343

河北获鹿：童养媳妇儿  $t^h\text{ue}^{55} \text{ia}\eta^0 \text{si}\gamma^{13-21} \text{fər}^0$  146；“童”  $t^h\text{u}\eta^{55}$  (平) 95

山西屯留：童养媳妇儿  $t^h\text{uən}^{13} \text{ia}\eta^{534} \text{ci}\text{ə}^{745} \text{fu}^{13}$  37；“童”  $t^h\text{u}\text{ə}\eta^{13}$  (阳平) 23

河南洛阳：囡养媳妇儿  $t^h\text{un}^{13} \text{ia}\eta^{53} \text{si}^{31} \text{fəu}^3$  童养媳 研究 62；

“童”  $t^h\text{u}\eta^{31}$  (阳平) 研究62

河南商水：囡养媳妇/ $\text{tuan}^{53} \text{iang}^{53} \text{xi}^{53} \text{fu}^0$ / 童养媳 379

宁夏中宁：囡养媳妇子  $t^h\text{u}\text{æ}^{13} \text{ia}\eta^0 \text{ci}^{13-11} \text{fu}^0 \text{ts}\eta^0$  童养媳 107；

“童”  $t^h\text{u}\text{ə}\eta^{53}$  (阳平上) 67

宁夏银川：童养媳妇子  $t^h\text{u}\text{æ}^{13} \text{ia}\eta^0 \text{ci}^{13} \text{fu}^{13} \text{ts}\eta^0$  童养媳 100；

“童”  $t^h\text{u}\eta^{53}$  (阳平上) 65；“囡”  $t^h\text{u}\text{æ}^{53}$  (阳平上) 59

山东淄川：囡养媳妇子  $t^h\text{u}\text{ã}^{55-24} \text{ia}\eta^0 \text{ci}^{214} \text{fu}^0 \text{ə}^0$  童养媳 68

山东济南：囡养子媳妇  $t^h\text{u}\text{ã}^{42-55} \text{ia}\eta^0 \text{ts}\eta^0 \text{ci}^{213-21} \text{fu}^0$  童养媳 词典243

山东济南：囡养媳妇(子)  $t^h\text{u}\text{ã}_{45} \text{ia}\eta^0 \text{ci}_{21} \text{fu}^0 (\text{ts}\eta^0)$  旧时未成年女子到婆家干媳妇的活，一直等到成年结婚，这种女子叫～ 市志 166

团圆媳妇 t<sup>h</sup>uā<sub>45</sub> yǎ<sup>0</sup> ci<sub>21</sub> fu<sup>0</sup> 市志 166

山东博山：团圆媳妇子 t<sup>h</sup>uā<sup>55-24</sup> iǎ<sup>31</sup> ci<sup>214-24</sup> fu<sup>33</sup> ə<sup>4</sup> 童养媳 研究 134；

同音字表(研究55) “同铜桐筒茼瞳潼桶捅统彤佟”均作 t<sup>h</sup>uŋ<sup>55</sup>，

“童”字不收，当作 t<sup>h</sup>uŋ<sup>55</sup> (上)；“养” ian<sup>55</sup> (上) 研究53；

“圆” yā<sup>55</sup> (上) 研究50；“圆团~媳妇：童媳妇” iǎ<sup>55</sup> (上) 研究50

山东东营：团圆媳妇儿 t<sup>h</sup>uā<sup>53-55</sup> yǎ<sup>0</sup> si<sup>55-212</sup> fur<sup>0</sup> 童养媳 1435

山东广饶：团圆媳妇儿 t<sup>h</sup>uā<sup>53-44</sup> yǎ<sup>0</sup> si<sup>213-212</sup> fur<sup>0</sup> 童养媳 868

山东寿光：团圆媳妇儿 t<sup>h</sup>uā<sup>55-35</sup> yǎ<sup>0</sup> ci<sup>213</sup> fur<sup>0</sup> 童养媳 99

山东聊城：团圆媳妇儿/tuan<sup>42</sup> yuan<sup>42-3</sup> xi<sup>42</sup> fur<sup>24-2</sup>/ 童养媳 FPJ6/53

(=山东高唐)

山东沂水：团圆媳妇子 t<sup>h</sup>uā<sup>55-24</sup> yǎ<sup>0</sup> si<sup>44-213</sup> fu<sup>0</sup> ɔŋ<sup>0</sup> 童养媳 81

河北青县：团圆媳妇 t<sup>h</sup>uan<sup>34</sup> iuan<sup>0</sup> ci<sup>21</sup> f<sup>0</sup> 童养媳 750

河南确山：团圆媳妇儿/tuányuánxǐfùr/ 童养媳 553

河南开封：团圆媳妇 t<sup>h</sup>uan<sup>41</sup> yan<sup>41</sup> si<sup>41</sup> fu<sup>0</sup> 童养媳 县志 543

宁夏中卫：团圆媳妇子 t<sup>h</sup>uāi<sup>53</sup> yē<sup>0</sup> ci<sup>13</sup> fu<sup>13</sup> tsŋ<sup>13</sup> 童养媳 志 134

山东新泰：团圆子媳妇 t<sup>h</sup>uā<sup>42</sup> yǎ<sup>42-55</sup> tθŋ<sup>0</sup> ci<sup>213-212</sup> fu<sup>0</sup> 童养媳 志 79

山东临清：团圆(子)媳妇 t<sup>h</sup>ē<sup>53-353</sup> yē<sup>0</sup> (tsŋ<sup>0</sup>) ci<sup>53-353</sup> fur<sup>0</sup> 童养媳 69；

“团” t<sup>h</sup>ē<sup>53</sup> (阳平) 19；“团” t<sup>h</sup>uē<sup>53</sup> (阳平) 20；

“童”？ cf. t<sup>h</sup>uŋ<sup>53</sup> (阳平) “同桐” 23；

“养” iǎ<sup>55</sup> (上) 22；“圆” yē<sup>53</sup> (阳平) 20

河南西华：团圆媳妇/tuan<sup>42</sup> üan<sup>42-3</sup> xi<sup>42</sup> hu<sup>24-2</sup>/ 童养媳 596

河南淮阳：团圆媳妇/tuan<sup>53</sup> üan<sup>0</sup> xi<sup>53</sup> fu<sup>24</sup>/ 童养媳 877

河南郸城：团圆媳妇儿/tuan<sup>53</sup> yuan<sup>0</sup> si<sup>53</sup> fu<sup>0</sup>/ 童养媳 562

この諸語形が同一の変化過程の異なる段階に位置するものであれば、接尾辞を省略してその変化の過程を超方言的表記で、以下のように表すことができよう。

I	II	III	IV	V
t <sup>h</sup> uəŋ iaŋ si/ci fu → t <sup>h</sup> uən iaŋ si/ci fu → t <sup>h</sup> uan iaŋ si/ci fu → t <sup>h</sup> uan ian si/ci fu → t <sup>h</sup> uan yan si/ci fu				
牟平	获鹿etc.	商水etc.	博山	东营etc.

この他にも例えば以下のような変化過程を想定することもできるが、

I	II	III	IV	V
t <sup>h</sup> uəŋ iaŋ si/ci fu → t <sup>h</sup> uən iaŋ si/ci fu → t <sup>h</sup> uən ian si/ci fu → t <sup>h</sup> uən yan si/ci fu → t <sup>h</sup> uan yan si/ci fu				
牟平	获鹿etc.	博山		东营etc.

これでは商水方言に見られる形式を説明することができない。シンプルで且つより多くの諸方言形を説明できるということを以って、証明に代わる当面の検証手段とする他ない。推定変化過程として、とりあえずは前者を採るべきであろう。ただ将来、前者のいずれの段階にも属さないような形式の報告が見られた場合（例えば後者のIVは前の推定変化過程の中に納まらない）、複数の推定変化過程を設定せねばならなくなるような事態も生じ得る。

上掲例には西北方言も含まれるが、山西、陝西地域では「嫁を取る」という語が“引媳妇(子/儿)”という語形で現われることが多く、この語形の干渉によって、以下のように“童引媳妇(子/儿)”となっている例がある。以下に該当例と参考に「嫁を取る」という語の諸方言語形を挙げる。

山西中阳：童引叟子 t<sup>h</sup>uŋ<sup>33</sup> iŋ<sup>213</sup> sΛ<sup>33</sup> tse<sup>0</sup> 童养媳 79；

陝西神木：童引媳妇子 t<sup>h</sup>u<sup>44</sup> i<sup>21</sup> ciə<sup>214-21</sup> fu<sup>0</sup> tsə<sup>21</sup> 童养媳 研究 380

cf. 山西河津：小引下 ciəu<sup>53-31</sup> iē<sup>53</sup> xa<sup>31</sup> 童养媳 研究 204

山西汾西：童养媳妇 t<sup>h</sup>uəŋ<sup>35-22</sup> i<sup>0</sup> ciə<sup>3</sup> fɿ<sup>0</sup> 34

山西万荣：童养媳妇 t<sup>h</sup>uΛŋ<sup>51-24</sup> iɿ<sup>55</sup> ci<sup>24</sup> fu<sup>33</sup> 词典361

山西忻州：童养媳妇儿 t<sup>h</sup>uəŋ<sup>31</sup> iē<sup>313-31</sup> ciə<sup>2</sup> fuər<sup>53</sup> 志94

山西忻州：童养子媳妇儿 t<sup>h</sup>uəŋ<sup>31</sup> iē<sup>2</sup> tə<sup>0</sup> ciə<sup>2</sup> fər<sup>53</sup> 童养媳 词典 267

山西山阴：童养媳妇儿 t<sup>h</sup>u<sup>35</sup> i<sup>0</sup> ciə<sup>22</sup> fuər<sup>0</sup> 39

山西广灵：童养媳妇儿 t<sup>h</sup>uŋ<sup>31</sup> iə<sup>0</sup> ci<sup>53</sup> fur<sup>0</sup> 28

山西运城：童养媳妇 t<sup>h</sup>uŋ<sup>13-11</sup> yo<sup>0</sup> ci<sup>13-11</sup> fu<sup>0</sup> 43

「嫁を取る」

陕西神木：引媳妇子 iŋ<sup>21</sup> ciə<sup>74</sup> fu<sup>44</sup> tsə<sup>721</sup> 给儿子娶亲 研究400

陕西绥德：引□子 iŋ<sup>213-21</sup> ciu<sup>33</sup> tsə<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北149 (=陕西子洲、米脂) ← “引媳妇子”

陕西佳县：引□子 iŋ<sup>412-21</sup> səu<sup>44</sup> tsə<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北149 ← “引媳妇子”

陕西神木：引媳妇子 iŋ<sup>213-21</sup> ciə<sup>73</sup> fu<sup>33</sup> tsə<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149 (=陕西府谷)

陕西靖边：引媳妇儿 iŋ<sup>213-21</sup> ciə<sup>73</sup> fur<sup>51</sup> 娶媳妇 陕北 149

陕西甘泉：引媳妇儿 iŋ<sup>51</sup> ci<sup>35</sup> fur<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149

陕西志丹：引媳妇儿 iŋ<sup>51-21</sup> ciə<sup>73</sup> fur<sup>44</sup> 娶媳妇 陕北 149

陕西子长：引媳妇儿 iŋ<sup>213-21</sup> ciə<sup>73-5</sup> fur<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149

陕西延长：引媳妇儿 iŋ<sup>52</sup> cie<sup>35</sup> fur<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149

山西河津：引媳妇得 iē<sup>53</sup> ciəu<sup>324</sup> tei<sup>0</sup> 研究225 ← “引媳妇子”

山西临县：引孀子 iəŋ<sup>312-21</sup> səu<sup>44</sup> tse<sup>0</sup> 娶媳妇48 ← “引媳妇子”

山西中阳：引叟子 iŋ<sup>214</sup> sΛ<sup>44</sup> tse<sup>0</sup> 男子结婚 91 ← “引媳妇子”

山西方山：引孀子 iəŋ<sup>314</sup> səu<sup>44</sup> tsə<sup>70</sup> 娶媳妇 450 ← “引媳妇子”

山西万荣：引媳妇的 iəi<sup>55</sup> ci<sup>24</sup> fu<sup>33</sup> ti<sup>0</sup> 把新娘从花轿中请出并引回夫家的人 词典199

陕西清涧：引新媳妇儿 iŋ<sup>52</sup> ciŋ<sup>213-21</sup> ciə<sup>73</sup> fər<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149

陕西榆林：引新人 iŋ<sup>213-21</sup> ciŋ<sup>33</sup> zəŋ<sup>213</sup> 娶媳妇 陕北 149 ← “引媳妇子”

陕西延川：引婆姨 iŋ<sup>52</sup> p<sup>h</sup>ei<sup>35</sup> zŋ<sup>0</sup> 娶媳妇 陕北 149

“童引媳妇(子/儿)”となっている例は筆者の知る限り、僅か2例に過ぎないが、上掲例から見てとれるように、山西方言の“童养媳妇(儿)”中

の“養”は轻声で現われている場合が多く、弱く発音することで韻母が不明瞭になれば、“童引媳妇(子/儿)”と漢字表記されるような音声形式となるのを待たずとも、“瞳仁”と“童养”との音声的類似から“童养媳妇(子/儿)”を想起するのは容易なことであろう。或は両者を結びつけるのは“瞳”と“童”の同音関係だけで事足りるのかも知れない。

#### §4 余論

筆者の知る限りでは、“媳妇儿”が他の語彙に接合される例としては、既に太田(2002)で指摘したが、以下のようなものがある。

##### 「蟻」

- 河北商都：蚂变媳妇儿 汇编125
- 山西天镇：蚂边媳妇儿 ma<sup>54</sup> piæ<sup>31</sup> ciə?<sup>32</sup> far<sup>24</sup> 蚂蚁 37  
 蚂蚱媳妇儿 ma<sup>54</sup> piæ<sup>31</sup> ciə?<sup>32</sup> far<sup>0</sup> 蚂蚁 报告 232
- 山西清徐：马鳖媳妇儿 mb<sup>53</sup> pia<sup>11</sup> ciə?<sup>2</sup> fu<sup>35</sup> ai<sup>11-43</sup> 蚂蚁 36  
 蚂蚱媳妇儿 mb<sup>53</sup> pia<sup>11</sup> ciə?<sup>2</sup> fu<sup>35</sup> ai<sup>11-43</sup> 蚂蚁 报告 232
- 山西河曲：蚂蚱媳妇子 ma<sup>213</sup> p<sup>hi</sup>213 ciə?<sup>33</sup> fu<sup>53</sup> tsɿ<sup>30-10</sup> 蚂蚁 通志 456  
 cf. 夜蝙蝠媳妇儿 ie<sup>53</sup> p<sup>hi</sup>213 ciə?<sup>33</sup> fər<sup>53</sup> 蝙蝠 通志 455

- 
- 山西阳高：变蜂妈妈 蚂蚁 629
- 山西隰县：蚍蜉蚂儿 p<sup>hi</sup>24 xuəŋ<sup>41</sup> mər<sup>31-55</sup> 报告 232
- 甘肃通渭：蚍粪妈妈 p<sup>hi</sup>324 fəŋ<sup>44</sup> ma<sup>53</sup> ma<sup>324</sup> 蚂蚁 665
- 山西汾西：蚍蜉蚂 p<sup>hz</sup>35-22 fā<sup>0</sup> ma<sup>0</sup> 报告 232

##### 「コウモリ」

- 山西河曲：夜蝙蝠媳妇儿 ie<sup>53</sup> p<sup>hi</sup>213 ciə?<sup>33</sup> fər<sup>53</sup> 蝙蝠 通志 455  
 cf. 山西寿阳：夜壁夫 ie<sup>45</sup> pia?<sup>22</sup> fu<sup>423</sup> 蝙蝠 29

「蟻」の場合は、共通語形の“蚂蚁”と山西固有の“蚍蜉”の合体した“蚂蚱”若しくは“蚍蜉蚂”が先にあり、ここに現われる“蚂”が親族名称の“妈”を想起させ、これを（小さいから？）“媳妇”に取り替えたというような解釈が出来そうに思われるが、上掲例を見る限り、その解釈は成立し難い。むしろ“蚂蚱”の“蜉”と“媳妇”の“妇”の音声的類似から、“蚂蚱”と“媳妇”が合体した“蚂蚱媳妇”のようなキメラ(chimera)語形が成立したと考える方が妥当なようである。これについては太田(2002)で既に指摘した。なお、先に紹介した同心方言の「テントウムシ」“花新姐姐”(←“花姐姐”+“新姐姐”)もまたこのようなキメラ語形に該当する。

「蟻」は擬人化し易い生物なのであろう。何に譬えるかということ、“蚂蚁”の“蚂”から“妈”，若しくは“蚍蜉”の“蜉”から“妇”若しくは“夫”ということになるのであろうが、“妇”の同定を容易にするために“媳妇”としたということであろうか。「コウモリ」の場合は今までのところ、河曲方言の1例しか見出していない。同方言では「蟻」も“～媳妇”となっている。「蟻」と「コウモリ」の混交が生じた結果、「コウモリ」の語形もまた“～媳妇”となった。これまで取り上げてきた例を見ると、“媳妇”は[fu]のような音節だけからでも容易に想起される語彙のようであり、民間語源の関わる特殊な変化においても大いに存在感を示している。

#### 注

(1) 依拠した『河津方言研究』は同音字表における処理と、分類語彙表における処理が一致せず、曖昧な点がある。同音字表には“星<sub>~</sub>宿 cyɛ<sup>31</sup>”(p.123)；“星火 cie<sup>31</sup>”(p.122)；“星 ciɛŋ<sup>31</sup>”(p.141)とあり、また別に“宿星<sub>~</sub> ciəu<sup>44</sup>”(p.132)，“宿住<sub>~</sub>，星<sub>~</sub>cy<sup>31</sup>”(p.125)とあるから、分類語彙表に

“星宿 cyɛ<sup>31</sup>/cie<sup>31</sup>/ciɛŋ<sup>31</sup> ciəu<sup>44</sup> 星宿” 若しくは、

“星宿 cyɛ<sup>31</sup>/cie<sup>31</sup>/ciɛŋ<sup>31</sup> cy<sup>31-0</sup> 星宿”

があつてよさそうなのに見えず、それに代わって

“宿星 cyɛ<sup>31</sup> ciɛŋ<sup>0</sup> 星宿”

がある。逆にこの表記からすると、同音字表には“宿~星 cyɛ<sup>31</sup>”があつてよさそうなのに、見えない。同音字表の表記を重視するなら、上記の予想される語形が掲載されるべきであり（但し上記語形における“星”の発音は“宿”の発音との組み合わせから見て、三種の全てが現われるかどうか分らない）,

“宿星 cyɛ<sup>31</sup> ciəŋ<sup>0</sup> 星宿”は  
“星星 cyɛ<sup>31</sup> ciəŋ<sup>0</sup> 星宿”  
と改めるべきではないか。

- (2) 『研究』には“娶”の白読音形式が見えない。文読音形式もまた“取”と同音ということであろうか？ 或は下に挙げた“生娶：~媳妇得” sa<sup>31</sup> がそれに該当するのであろうか？ “生”に波線が施されているのには説明がないが、同音字で代用したことを意味するのであろう。なお、ここでは声調は31（陰平）となっており、県志の53（上声）とは一致しない。
- (3) 漢字表記では“~地儿”となっているが、拼音では表記不可能であるためか、音声表記は兒化を無視している。同書 pp.419-420 の記述に基づけば“~地儿”は [tɿl] となっているはずである。
- (4) 逆に「臀部」を指す語“尻子/沟子”が「肛門」の意味に転用されたと思えるようなケースもある。以下の例を参照されたい。

陝西眉县：尻子 kou<sup>31</sup> tsɿ<sup>0</sup> 屁股，肛門 773 ← “沟子”？  
陝西合阳：尻子/ gou<sup>31</sup> zi<sup>0</sup>/ ①肛門②屁股 806 ← “沟子”？  
山西耀县：尻子 肛門 381  
山西垣曲：沟 kou<sup>23</sup> 肛門 624

陝西靖边：沟子 kou<sup>33</sup> tsə<sup>0</sup> 臀部 447  
山西河津：沟得 kou<sup>31</sup> tei<sup>0</sup> 屁股 研究 213  
山东莒县：腓沟 tiŋ<sup>31</sup> kou<sup>13</sup> 两股之间 志 125

陝西方言の場合も“沟子”を語源とするものであれば、これらは「お尻の割れ目」を意味する語が「お尻」を指すようになったものと看做すことができ、更に「肛門」をも指すことになったものと考えられる。

- (5) 所拠文献の同音字表には“睛” tɕ<sup>h</sup>in<sup>53</sup> (p.90) とあるが、これは“晴” tɕ<sup>h</sup>in<sup>53</sup> の間違い。他の字音の対応状況から見て、tcin と推定した。声調調値は中古音との対応から見れば、陰平44が期待される場所である。この字は普通話でも、口語語彙では“眼睛”という語構成でしか現われない。同心方言では“眼睛”という形式を用いないので、従って同音字表にもこの字が現われないということなのであろう。

#### 参考文献

太田 斎 錯綜した「混交」——中国西北方言の「コウモリ」, 「ヤモリ」, 「アリ」, 「ハチ」——慶谷壽信教授記念中国語学論集 慶谷壽信教授記念中国語学論集刊行会 好文出版 2002. 11 pp.51-92

## 方言资料

### 综合

北方：普通话基础方言基本词汇集 陈章太等主编 语文出版社 1996.10 4772+24p.  
(略称 普通)

[甘肃敦煌；河北邯郸、平山；河南林县；江苏南通；辽宁大连；山西离石、临汾]

### 甘肃

定西：定西县志 定西县志编纂委员会 甘肃人民出版社 1990.10 pp.191-209

天水：天水方言 王廷贤、马建东、雒江生 甘肃文化出版社 2004.8 232p.

通渭：通渭市志 甘肃省通渭县县志编委会 兰州大学出版社 1990.10 pp.659-670

### 河北

全省：河北方言词汇编 李行健主编 商务印书馆 1995.10 955p. (略称 汇编) [商都]

柏乡：柏乡县志 河北省柏乡县地方志编纂委员会 方志出版社 2000.4 pp.192-205

昌黎：昌黎方言志 河北省昌黎县县志编委会·中国科学院语言研究所 科学出版社  
1960.7 283p.

获鹿：获鹿方言志 陈淑静主编 河北人民出版社 1990.8 243p.

临西：临西县志 临西县地方志编纂委员会 中国书籍出版社 1996.10 p.745-814

南宫：南宫市志 南宫市地方志编纂委员会 河北人民出版社 1995.7 pp.728-756

平山：平山县志 平山县地方志编纂委员会 中国书籍出版社 1996.12 p.832-844

平乡：平乡县志 平乡县地方志编纂委员会 方志出版社 1999.12 pp.857-875

青县：青县地方志编纂委员会 方志出版社 1999.11 pp.742-761

任丘：任丘市志 任丘市地方志编纂委员会 书目文献出版社 1993.1 pp.626-632

深县：深县志 深州市地方志编纂委员会 中国对外翻译出版公司 1999.9 pp.529-546

### 河南

长葛：长葛县志 长葛县志编纂委员会 三联书店 1992.1 pp.611-625

郸城：郸城县志 郸城县地方志编纂委员会 中州古籍出版社 1992.12 pp.545-569

范县：范县志 范县地方史志编纂委员会 河南人民出版社 1993.6 pp.496-500

淮阳：淮阳县志 邵士杰等主编 河南人民出版社 1991.12 pp.868-882

开封：开封县志 开封县志编委会 中州古籍出版社 1992.7 pp.529-552

林县：林县志 林县志编纂委员会 河南人民出版社 1989.5 pp.595-621

洛阳：洛阳方言研究 贺巍 社会科学文献出版社 1993.6 191p. (略称 研究)

南乐：南乐县志 南乐县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1996.10 pp.725-750

宁陵：宁陵县志 宁陵县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1992.12 pp.417-436

濮阳：濮阳方言调查报告 刘行军 (河南濮阳师范) 油印 209p.

确山：确山县志 确山县志编纂委员会 三联书店 1993.5 pp.544-563

商水：商水县志 商水县地方志编纂委员会 河南人民出版社 1990.11 pp.361-386

太康：太康县志 太康县志编纂委员会 中州古籍出版社 1991.8 pp.557-600

桐柏：桐柏县志 桐柏县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1995.11 pp.723-734



西华：西华县志 西华县地方史志编纂委员会 中州古籍出版社 1993.1 pp.579-606

## 宁夏

固原：固原县方言志 杨子仪、马学恭 宁夏人民出版社 1990.7 349p.

彭阳：彭阳县志 彭阳县志编委会 宁夏人民出版社 1996.9 pp.483-503

同心：同心方言研究 张安生 宁夏人民出版社 2000.3 338p.

银川：银川方言词典 李树俨、张安生 江苏教育出版社 1996.12 390p. (略称 词典)

银川方言志 高葆泰、林涛 语文出版社 1993.5 240p. (略称 志)

中宁：中宁县方言志 李树俨 宁夏人民出版社 1989.2 196p.

中卫：中卫方言志 中卫县县志编委会办公室 宁夏人民出版社 1995.9 252p.

## 青海

西宁：西宁方言志 张成材、朱世奎 青海人民出版社 1987.9 313p.

## 山东

博山：博山方言研究 钱曾怡 社会科学文献出版社 1993.6 194p. (略称 研究)

长岛：长岛方言志 钱曾怡等《山东史志丛刊》1992年增刊 山东省地方史志办公室 119p.

东营：东营县志 东营市地方史志编纂委员会 齐鲁书社 2000.5 pp.1403-1454

肥城：肥城县志 肥城县史志编纂委员会 齐鲁书社 1992.4 pp.734-767

高唐：鲁西方言词汇(续) 任均泽 方言与普通话集刊第六本 文字改革出版社 pp.22-61 (略称 FPJ)

广饶：广饶县志 山东省广饶县地方史志编委会 中华书局 1995.8 p.857-880

济南：济南方言词典 钱曾怡 江苏教育出版社 1997.12 403p. (略称 词典)

济南市志(第七册 方言篇) 济南市史志编委会 中华书局 1997.12 pp.113-242 (略称 市志)

金乡：金乡方言志 马凤如 齐鲁书社 2000.11 218p.

莒县：莒县方言志 石明远 语文出版社 1995.1 258p.

莱西：莱西县志 莱西县志编纂委员会 山东人民出版社 1990.2 pp.851-884

聊城：鲁西方言词汇(续) 任均泽 方言与普通话集刊第六本 文字改革出版社 pp.22-61 (略称 FPJ)

临清：临清方言志 张鸿魁 中国展望出版社 1990.9 229p.

牟平：牟平方言志 罗福腾 语文出版社 1992.10 203p. (略称 志)

牟平方言词典 罗福腾 江苏教育出版社 1997.12 428p. (略称 词典)

荣成：荣成方言 张卫东 1982年研究生毕业论文(北京大学中文系专业) 136p. (略称 张)

荣成方言志 王淑霞 语文出版社 1995.2 274p.+1map (略称 志)

寿光：寿光方言志 张树铮 语文出版社 1995.1 230p. (略称 志)

滕县：滕县志 滕州市地方史编纂委员会 中华书局 1990.3 p.555-579

汶上：汶上县志 汶上县志编纂委员会 中州古籍出版社 1996.9 p.545-550

- 新泰：新泰方言志 高慎贵 语文出版社 1996.4. 236p. (略称 志)
- 阳谷：阳谷方言研究 董绍克 齐鲁书社 2005.2 398p.
- 沂水：沂水方言志 张延兴 语文出版社 1999.4 250p.+1map
- 淄川：淄川方言志 孟庆泰 罗福腾 语文出版社 1994.6 257p.

## 山西

- 全省：山西方言调查研究报告 侯精一等编 山西高校联合出版社 1993.7 746p. (略称 报告) [清徐、天镇、隰县]
- 长治：长治方言志 侯精一 语文出版社 1985.4 134p.
- 大宁：大宁县志 大宁县志编纂委员会 海潮出版社 1990.11 p.470-495
- 大同：大同方言志 马文忠、梁述中 语文出版社 1986.12 133p.
- 代县：代县方言研究 崔淑慧 山西人民出版社 2005.3 261p.
- 定襄：定襄方言志 陈茂山 山西高校联合出版社 1995.12 67p.
- 方山：方山县志 方山县县志编委会办公室 山西人民出版社 1993.2 p.431-459
- 汾西：汾西方言志 乔全生 山西高校联合出版社 1990.1 68p.
- 高平：高平方言研究 白静茹等 山西人民出版社 2005.3 298p.
- 广灵：广灵方言志 马文忠 山西高校联合出版社 1994.8 58p.
- 和顺：和顺方言志 田希诚 语文社出版社 1990.5 118p.
- 河津：河津县志 河津县志编委会 山西人民出版社 1989.11 p.466-483 (略称 县志)
- 河津方言研究 史秀菊 山西人民出版社 2004.8 409p. (略称 研究)
- 河曲：山西通志·民俗方言志 山西省史志研究院 中华书局 1997.9 p.359-620 (略称 通志)
- 洪洞：洪洞方言志 语文研究增刊(6) 乔全生《语文研究》编辑部 1983.12 76p.
- 吉县：吉县方言志 蔡权 山西高校联合出版社 1990.1 71p. (略称 志)
- 绛县：绛县志 绛县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1997.12 pp.731-750
- 静乐：静乐方言研究 李建校 山西人民出版社 2005.3 355p.
- 临汾：临汾方言志 潘家懿 语文出版社 1990.5 126p. (略称 志)
- 临汾屯里：临汾屯里方言词汇集 樋口勇夫 中国の方言と地域文化(1) 平成5~7年度科学研究総合研究(1) (課題番号05301056) 研究成果報告書—第1分冊 1994.3 219p.
- 临县：临县方言志 李小平 山西高校联合出版社 1991.4 70p.
- 临猗：临猗县志 临猗县志编委会 海潮出版社 1993.12 p.625-646
- 娄烦：娄烦县志 娄烦县地方志编委会 中华书局 1999.12 pp.635-701 (略称 县志)
- 娄烦方言研究 郭校珍等 山西人民出版社 2005.3 260p. (略称 研究)
- 平鲁：平鲁方言志 郭文亮 山西教育出版社 1990.1 224p. (略称 志)
- 平鲁方言研究 杨增武 山西人民出版社 2002.9 225p. (略称 研究)
- 平陆：平陆县志 平陆县志编委会 中国地图出版社 1992.10 pp.563-588 (略称 县志)
- 平陆方言志 李雅翠 山西高校联合出版社 1993.1 67+1p. (略称 志)

- 平遥：平遥方言民俗词汇 侯精一 语文出版社 1995.4 283p. (略称 民俗)
- 清徐：清徐方言志 潘耀武 山西高校联合出版社 1990.12 68p. (略称 志)
- 芮城：芮城县志 芮城县志编委会 三秦出版社 1994.12 pp.963-988
- 山阴：山阴方言志 杨增武 山西高校联合出版社 1990.4 66p. (略称 志)
- 石楼：石楼县志 石楼县志编委会 山西人民出版社 1994.12 pp.461-477 (略称 志)
- 寿阳：寿阳方言志 赵秉璇 《语文研究》编辑部 1984.1 57p.
- 朔县：朔县方言志 江荫禔 山西高校联合出版社 1991.9 70p.
- 太原：太原方言词典 沈明 江苏教育出版社 1994.12 377+1p. (略称 词典)
- 太原北郊区：太原北郊区方言研究 崔容 山西人民出版社 2004.8 292p.
- 天镇：天镇方言志 谢自立 山西高校联合出版社 1990.9 70p. (略称 志)
- 屯留：屯留方言志 张振铎、刘毅 山西高校联合出版社 1991.8 70p.
- 万荣：万荣方言词典 吴建生、赵宏因 江苏教育出版社 1997.12 444p. (略称 词典)
- 万荣方言志 吴建生 《语文研究》编辑部 1984.12 56p. (略称 志)
- 文水：文水方言志 胡双宝 语文出版社 1990.5 124p.
- 武乡：武乡方言志 史素芬、李奇 山西高校联合出版社 1990.5 65p. (略称 志)
- 武乡方言研究 史素芬 山西人民出版社 2002.9 200p. (略称 研究)
- 乡宁：乡宁县志 乡宁县志编委会 新华出版社 1992.12 pp.659-686
- 孝义：孝义方言志 郭建荣 语文出版社 1989.9 136p.
- 忻州：忻州方言志 温端政 语文出版社 1985.4 149p. (略称 志)
- 忻州方言词典 温端政、张光明 江苏教育出版社 1995.12 450p. (略称 词典)
- 新绛：新绛方言志 朱耀龙 山西高校联合出版社 1990.5 64p. (略称 志)
- 兴县：兴县志 《兴县志》编纂委员会 中国大百科全书出版社 1993.10 pp.438-468
- 阳高：阳高县志 阳高县志编委会 中国工人出版社 1993.5 pp.624-643
- 阳曲：阳曲县志 阳曲县志编委会 山西古籍出版社 1999.9 pp.651-683
- 永济：永济方言志 吴建生、李改样 山西高校联合出版社 1990.6 68p.
- 孟县：孟县方言志 宋欣桥 山西高校联合出版社 1991.9 68p.
- 垣曲：垣曲县志 垣曲县志编委会 山西人民出版社 1993.5 pp.619-632
- 原平：原平方言志 金梦茵 语文出版社 1989.7 128p.
- 运城：运城方言志 吕枕甲 山西高校联合出版社 1991.8 70p.
- 长子：长子方言志 高炯 山西高校联合出版社 1995.12 80p.
- 中阳：中阳县方言志 胡福汝 学林出版社 1990.12 153p.
- 左权：左权方言志 王希哲 山西高校联合出版社 1991.10 70p.

## 陕西

- 陕北：陕西省志·方言志（陕北部分）刘育林 陕西人民出版社 1990.12 224p. (略称 陕北) [绥德、子洲、米脂、佳县、神木、府谷、榆林、靖边、甘泉、志丹、清涧、子长、延川、延长]
- 合阳：合阳县志 合阳县志编纂委员会 陕西人民出版社 1996.10 pp.775-820

靖边：靖边县志 靖边县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.7 pp.435-543  
麟游：麟游县志 麟游县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1993.12 pp.573-586  
眉县：眉县志 眉县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 2001.1 pp.755-775  
户县：户县方言研究 孙立新 东方出版社 2001.10 485p.  
宁陕：宁陕县志 宁陕县地方志编纂委员会 陕西人民出版社 1992.10 pp.691-730  
神木：神木方言研究 邢向东 中华书局 2004.3 716p.  
西安：西安方言词典 王军虎 江苏教育出版社 1996.12 350p.

\* 本論文は平成17年度文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(1) (課題番号：16320051) 「中国語方言の言語地理学的研究—新システムによる『漢語方言地図集』の作成—」(代表者：岩田礼)の研究成果の一部である。